

令和2年7月12日執行

名取市長選挙候補者選挙公報

名取市選挙管理委員会



大久保
みよ
(43)

所信表明 「民主主義は、不断の努力で守るもの。投票率をV字回復させたいから、落選経験六回ですが挑戦します。まちの未来を創るのは私達」

自己紹介 精神保健福祉士。診療所とホスピスの経営補助、高齢者や障がい児・者の相談支援事業に携わる。プログラミングや音楽療法を活用した障害児療育や、不登校・いじめ・ひきこもり相談支援に注力。前衆議院議員。慶大院修了。四十三歳。

公約

東北の中核都市へ成長・発展

- ① 感染症対策と経済活性化の両立
- ② 教育立市・スマートシティ
- ③ 水・雪害予防のまちづくり

方策

きびきび働き、だから残業撲滅。

市民に寄り添う市役所へと生まれ変わらせます。「新しい生活様式」に伴う「新しい教育様式・スマートシティ」実践するにあたり、国や県に対する追従姿勢を改めます。

地球温暖化に伴う水災害の増加に対応する公共工事や人づくりに注力します。人の往来・滞在を増やすため、地場産業活性化。地域資源を生かしたソフト整備を充実。

名取市議会や地元選出の国・県議会議員、外郭団体らとは、政党や党派・所属、過去の経緯を問わず、まちの未来づくりや危機管理のためならば連帯・協働します。但し、なれあいに陥らないよう、注意を払います。

愛されるふるさととなり～共に創る未来へつなぐ～



無所属

山田しろう

57歳

1 子育て・教育先進都市へ

- ▼子ども医療費助成の拡充(高校3年生まで)
- ▼生きた英語教育の推進と国際感覚ある人材の育成
- ▼子どもランドや地場学校協働事業の深化
- ▼老朽化した学校施設の計画的な改修等
- ▼誰もが気軽に文化・スポーツに親しめる環境整備
- ▼児童生徒一人1台のタブレット端末の整備(GIGAスクール構想)

2 地域経済の発展と雇用創出を

- ▼企業誘致の促進と新たな産業エリアの整備
- ▼中心市街地の活性化(舞台村構想・視察センター・跡地活用など)
- ▼農業、水産業のブランド化と、生産の質・量の両面強化
- ▼空き家等の実態把握と活用促進 ▼空港と共生するまちづくり

3 誰もが自分らしく安心して暮らせるまちへ

- ▼食品スーパー空白エリアへの買い物支援と高齢者の外出支援
- ▼住み慣れた地域で安心して暮らせる地域包括ケアのまちづくり
- ▼障がい者や性的マイノリティへの理解促進と活躍の場づくり
- ▼地域を支える各種団体への支援強化と市民協働事業の深化
- ▼女性がいきいきと活動し、輝くまちづくり

4 災害に強いまちへ

- ▼名取市地域防災計画の不断の見直しと定期的な訓練の実施
- ▼食料等の計画的な備蓄と感染症等を想定した新たな品目の追加
- ▼地区別、災害種別の避難所等の見直し
- ▼脆弱地区や美田園地区の一部など、大雨時の冠水被害への対策
- ▼感染症や熱中症など複合災害を想定した避難所での運営マニュアル作成

5 市内の均衡ある発展と広域連携のさらなる強化を

- ▼公共交通網のさらなる充実(デマンド交通の導入を検討)
- ▼狭隘な道や農道の拡幅整備
- ▼なごりの魅力の発掘と創生して情報発信
- ▼一般廃棄物最終処分場補給地の選定(市域内)
- ▼交通アクセスの良さと自給率を活用した広域観光の促進

6 新型コロナウイルス感染症に対応する市独自の支援策(単年度)

- ▼3割増しプレミアム商品券発行への支援(8/1より発行)
- ▼中小企業等経営支援金(10万円) ▼農・漁業者等経営継続支援金(10万円)
- ▼テイクアウトデリバリー実施の飲食店応援金(10万円)
- ▼医療従事者の休業期間▼中学生3年生のインフルエンザ予防接種の無償化

推薦
自由民主党
公明党
立憲民主党

プロフィール

昭和38年5月13日 生まれ
 名取市長(1期4年)現職
 名取市議会議員(2期8年)
 経済教育常任委員会 委員長
 民生教育常任委員会 委員長
 (経歴)
 名取市立不二が丘小学校卒業
 名取市立第一中学校卒業
 宮城県仙台向山高等学校卒業
 法政大学 文学部英文学科卒業
 (株)エンドーチェーン 入社
 (株)東北西友 青果部長
 名取こどもミュージカル実行委員長
 不二が丘小学校PTA会長
 名取市立第一中学校PTA会長
 常磐木学園高等学校PTA会長

*7月12日(日)は 名取市長選挙の投票日です

*投票時間は午前7時から午後8時まで (高館第3・第5・第6は午後6時まで)